

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	耐震設計小委員会		主 査 名：北村春幸 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限界耐力計算、エネルギー法、時刻歴応答計算などの耐震設計手法の比較 ・ 構造設計者に役立つ資料の作成 ・ 本小委員会の成果刊行物の査読と刊行、そして講習会の開催 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：北村春幸 (東京理科大学) 幹事：倉本 洋 (豊橋技術科学大学)、高山峯夫 (福岡大学) 委員：秋山 宏 (日本大学)、大越俊男 (日本設計)、大鳥靖樹 (電力中央研究所)、壁谷澤寿海 (東京大学)、木村祥裕 (東京工業大学)、山田 哲 (東京工業大学)、佐藤玲圭 (熊谷組)、石井正人 (日建設計)、石原 直 (国土技術政策総合研究所)、加藤研一 (鹿島建設)、松本和行 (藤木工務店)、三宅辰哉 (日本システム設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	構造物の地震応答評価指標 WG ：地震動と建築物の耐震性との関係を横断的に評価することを目標に、その評価指標を確立すること。		
2008 年度予算	270,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『建築物の耐震性能評価手法の現状と課題 - 限界耐力計算・エネルギー法・時刻歴応答解析 -』
講習会	1. 講習会「建築物の耐震性能評価手法」(東京 2009 年 2 月 26 日、大阪 3 月 3 日) 参加者数：東京 281 名、大阪 127 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム「増大する地震動レベルと建物の終局耐震性の課題と展望 - 地震動と建築物の耐震性との関係を横断的に評価する指標の確立に向けて -」(東京 2008 年 12 月 11 日) 『同名資料』 参加者数：287 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 振動運営委員会と構造委員会の査読でいくつかの指摘はあったものの、より完成度の高い内容にすることができた。 2. 2009 年 2 月に成果物を刊行した。 3. 講習会において成果を予定どおり公表できた。 4. シンポジウムを 2008 年 12 月に開催し、予定通りの討論ができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 今年度の委員会活動は、査読者からの意見対応と原稿の修正に追われた。 2. 委員会の活動成果を公にするのに 1 年ほどかかるのは長すぎないか。 3. 学会出版物の内容とふさわしいレベルを維持しつつ、速やかな公表ができるシステムを考えるべきである。